

2022年9月30日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社三栄建築設計に「SDGs推進シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社三栄建築設計（代表取締役社長：小池 信三）に「SDGs推進シンジケーション」を実施いたしました。

「SDGs推進シンジケーション」は、シンジケートローン実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、株式会社三栄建築設計については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 産学連携を通じた国産木材の活用促進による、国内の森林の適切な管理、気候変動への適応力の強化

目標 15 陸の豊かさを守ろう	15.2 2030年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。
目標 13 気候変動に 具体的な対策を	13.1 すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。
目標 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

- ② グループにおける建設関連人材の育成、木造住宅におけるエネルギー消費効率の改善

目標 4 質の高い教育を みんなに	4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

株式会社三井住友銀行では、「SDGs シンジケーション」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上